

# 「2050年ゼロカーボンシティ」宣言

～多彩な環境交流を楽しみ、育む、持続可能な都市・日光～

21世紀は、「環境の時代」と呼ばれています。

近年では、地球温暖化の影響と考えられる極端な気象現象の多発や自然環境への影響が深刻な問題となり、世界的に地球温暖化を抑制するために脱炭素社会に向けた動きが活発化しています。

世界では、2015年にCOP21で合意された温暖化対策の国際合意であるパリ協定において「産業革命前からの世界の気温上昇を1.5度に抑える努力を追求する」ことについて合意され、2021年のCOP26におけるグラスゴー気候合意において世界全体の長期的な目標として再認識し、気温上昇を制限するための努力を継続することが決意されました。

我が国では、2020年に「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、先のCOP26と同時期に開催された世界リーダーズ・サミットにおいて、「2030年までの期間を「勝負の10年」と位置づけ、全ての締結国に野心的な気候変動対策を呼びかけるなど、脱炭素社会の実現に向けた取り組みがさらに加速しています。

日光市は、豊かな水資源や森林、多様な生態系、日光国立公園やラムサール条約湿地などの世界的に優れた自然景観や自然環境に恵まれています。

私たちは、この自然が与えてくれる水、空気、空、光、風、四季、景観など多くの恩恵を受けています。

これらは、先人たちが大切に守り、愛しむとともに、生活の一部として共に歩み、育ててきた大切な資源です。

この大切な資源を未来に繋げていくことは、今の私たちに課された大切な使命であり、市民・事業者・市が一体となって連携・協働しながら、第2次日光市環境基本計画に掲げた目指すべき環境像を実現するとともに、2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言します。

令和3年12月24日

日光市長

粕川 昭一

